

輪島市立新図書館等整備事業設計業務

公募型プロポーザル選定結果

輪島市立新図書館等整備事業設計業務に係る公募型プロポーザルについて、参加者から提出された技術提案書についてヒアリングを実施し、ヒアリングの内容と質疑応答を含め、技術提案書を審査委員会において厳正かつ慎重な審査を行った結果、次のとおり設計候補者を選定しました。

設計候補者 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所

【審査報告書】

一次審査 令和5年10月19日（木）実施

12者の参加表明があり、設計方針及び事務所の業務実績等について書類審査を行い、10者を選定しました。

【課題】 基本計画及び基本方針に即した新たな図書館を実施するための基本的考え方

二次審査 令和5年12月18日（月）・19日（火）実施

一次審査で選定された10者より、提出された技術提案書の内容を審査しました。特に、技術提案書で6つの課題を設定し、この課題に対する提案を求めました。また、技術提案に対してヒアリングを実施し、設計候補者を選定しました。

【課題1】 施設整備についての考え方

周辺の環境や既存施設と調和し、新図書館と既存施設「輪島市文化会館（ホール棟）、道の駅輪島（ふらっと訪夢、物産館など）」との一体的な利用を考慮した施設整備についての考え方

【課題2】 基本的考え方

新図書館の整備基本方針に則った「知と交流の拠点となる新たな図書館」を実現するための基本的考え方

【課題3】 空間構成について

基本方針に則った「知と交流の拠点となる新たな図書館」を実現するための利用しやすさを重視した 動線 及び 空間構成の考え方

【課題4】 内外観のデザインコンセプト

基本理念における「本と出会い、人とつながり、多世代が新たな価値観を創造する‘知と交流の拠点’」を実現するための内外観のデザインコンセプト

【課題5】 ライフサイクルコストについて

ライフサイクルコストを考慮した建設コスト、維持管理 及び 工程計画について

【課題6】 重要と考える事項

本図書館を計画・提案するにあたり設計者として重要であると考えられる事項について

【審査講評】

新しい輪島市立図書館の公募型プロポーザルを実施したところ、一次審査に 12 者、二次審査に 10 者の参加をいただきました。まずは、参加をいただいた全ての方々の方に深く敬意を表します。

本プロポーザルでは、基本理念の「本と出会い、人とつながり、多世代が新たな価値観を創造する『知の交流拠点』」として、広く市民に愛され、輪島市にふさわしい施設整備を目的として、図書館設計業務に適した設計候補者を選定するものです。

審査にあたっては、周辺の環境や既存施設と調和し、新図書館と既存施設との一体的な利用を考慮した建築計画がポイントとなりました。

各者からは、輪島の歴史文化、建築様式や伝統工法、輪島塗などの伝統工芸を取り入れながら、市民の交流の場として新たな賑わいの創出を図るなど、これまでに培った設計業務の経験を踏まえた提案をいただきました。

今回選定された設計候補者からは、「本・情報」が身近な存在として遍く市民の生活に浸透し、まだ知らぬ無限の「知」と「市民」をつなぎ、「多世代交流」の拠点となる『みちの図書館』としての構想や、輪島の街並みに多く見られる「勾配屋根」、「下見板張り」をデザインに採り入れ、深みのある漆黒の上品な意匠と、輪島の玄関口に相応しい輪風建築が提案されました。敷地内の回遊性を高める多様な「みち」がつながり、自然を感じられる開放的なエリア、ぬくもりのある木質素材の内装など、多彩な空間構成なども評価されました。また質疑応答でも、建設コストの考え方や管理上の疑問点について明確な方針が確認できました。

以上を踏まえて、設計者選定というプロポーザルの主旨から、十分に新図書館設計者としての資質があるものと判断し選定しました。輪島市の文化や教育、情報発信の中心的な存在、地域の発展に貢献していく施設になるよう、関係者との対話を図りながらデザイン設計されることを期待いたします。

令和5年 12月20日

輪島市立新図書館等整備事業設計業務プロポーザル審査委員会